



『みらいへのかけはし』

() 小学校 (3) 年 () 組

名前 (ていねいにかきましょう。)

学習ガイド (小学校3年生 国語)

《学習のないよう》

1日目 声に出して読んでみよう

- (1) 教科書の表紙のうらの「春の子ども」を10回音読してみよう。
- (2) 教科書2～5ページの「目次」を読んで、一年間の見通しをもとう。どのような学習内容なのか、予想してみよう。
- (3) 教科書6～9ページの「国語の学習の進め方」を読んで、1年間で学習する『★言葉の力』を確かめ、1年間の見通しを持とう。

2日目 新しいかん字のれんしゅうをしよう

- (1) 教科書164ページの「葉」「使」「表」「所」「起」「面」「向」「緑」「感」「豆」「様」「物」「岸」を2年生までついていたかん字のノートに3～5回ずつ書いてみよう。

3日目 くらべてみよう

- (1) 教科書12・13ページを読んで、なわとび・トランプ・サッカーの3つの遊びを13ページ上の表に整理してくらべてみましょう。

4日目 かん字のれんしゅうをしよう

- (1) 教科書15ページの「2年でならったかん字」をノートや教科書に書きましょう。

5日目 ものがたりを音読しよう①

- (1) 26・27ページを読んで、「言葉の力」に書いてあることに気をつけて、「すいせんのラッパ」を3回読んでみましょう。

6日目 ものがたりを音読しよう②

- (1) 「すいせんのラッパ」は、いつ、どこで、だれが出てくる物語でしたか。どんなできごとが起こりましたか。ノートに書いてみましょう。

7日目 ものがたりを音読しよう③

- (1) すいせんのラッパの音はどんな音でしょうか。

8日目 新しいかん字のれんしゅうをしよう

- (1) 教科書164～165ページの「意」「味」「漢」「開」「落」「着」「駅」「和」「身」「役」「調」「育」「守」「動」「持」「章」「号」「返」「題」「植」を2年生までつかっていたかん字のノートに3～5回ずつつかいてみよう。

9日目 新しいかん字のれんしゅうをしよう

- (1) 8日目のつづきのかん字を3～5回れんしゅうしよう。

《保護者のみなさまへ ★関わり方のポイント★》

- (1) 音読はできる範囲で聞いていただき、励ましてあげてください。
- (2) 新しい漢字練習については、書き順等正しく書けているか、ご確認をお願いします。お子さんが登場人物をなかなか見付けられないときは、文章を読んで人のように話したり動いたりしている動物や物を見付けるように声掛けをしてあげてください。
- ・場所や天気などが分かる言葉や、登場人物がしたことを見付けるためには、登場人物の役になりきってしたことや言ったことを見付けていくことも学習方法の一つです。動作を付けていくことで、したことが具体的に分かったり登場人物が場所を移動したりしていることが分かるきっかけとなったりします。お子さんが文章を基に登場人物になりきって読む姿を大いに褒めてあげてください。
 - ・漢字の学習では、子どもたちの日常会話ではあまり使い慣れていない熟語も掲載されています。お子さんとのやりとりの中で知らない言葉があれば、意味と一緒に考えたり教えてあげたりしてください。言葉の意味を知ることによって、理解が深まり定着につながります。

学習ガイド（小学校3年生 算数）

★はじめに★

表紙をめくって、もくじを読んでみましょう。

2・3ページ「教科書の使い方」を読みましょう。

4・5ページ「学習の進め方」を読みましょう。

学級のみんなで、学習をスタートさせることができるように、これまでの算数の学習の進め方をたしかめておこう。

- (1) 教科書表紙の絵をみて、気がついた事をノートに書きましょう。

- (2) 10・11ページをみて、数あてゲームをしましょう。遊び方は17ページに、ゲームに使うカードは18ページにあります。

(切り取って使いましょう)

- (3) 12ページをみておはじき入れをしましょう。おはじき入れのシートをくふうして作り、とく点のきろくもとりましょう。
- (4) 18ページの九九の表を見て、答えが同じで式がちがう計算を調べましょう。また、調べたことや気がついたことを整理してノートに書きましょう。
- (5) 自分がほしい文ぼう具のねだんを調べ、ノートに書きましょう。調べた中から買いたいと思う物の値段を2つ選んでノートに書きましょう。

《保護者のみなさまへ ★関わり方のポイント★》

3年生の算数の学習は2年生の内容と深く関わっています。(かけ算とわり算など) かけ算九九はスラスラ言えるか、 7×4 (しちし) と 7×7 (しちしち) など言い方が似ている物を混同していないか等、確かめながら家庭学習を進めるようにして下さい。

ガイドのポイント

- (1) 算数の学習に期待や興味を持たせるのがねらいです。登場人物が何を話しているのか、何をしているのか等、表紙を見ながら親子で一緒に想像をしながら話をして下さい。ご兄弟がいる場合は他の学年の表紙と比べてみるのも良いです。
- (2) 九九のきまりを使って、かくれた数を当てるゲームです。18ページのカードを切り取って使って下さい。かくれた数の前の数や、次の数から考えられるように声かけをして下さい。
- (3) 12ページの上のさし絵を参考にシートを作っておはじき入れをします。おはじきがなければ、硬貨等を使って下さい。13ページのさし絵を参考に点数の記録も取らせて下さい。
- (4) 九九のしくみの理解を深める課題です。 $3 \times 4 = 12$ $2 \times 6 = 12$ などちがう式で同じ答えになる計算や、 $3 \times 4 = 12$ $4 \times 3 = 12$ などかけられる数とかける数を入れ替えても答えが同じなる計算などを探させて下さい。合わせて、わり算につながるように、 $3 \times \square = 12$ などの問題にも取り組ませて下さい。
- (5) 足し算の筆算に向けての課題です。ノートや鉛筆などの文房具の値段を調べさせて、その中から2つ選ばせて下さい。(ノート128円・鉛筆80円などインターネットやちらしなどで実際の値段を調べさせてください) 授業で選んだ2つの値段の足し算ができるようになります。

※ 子ども達は経験したことのない状況でストレスを抱えています。間違えたり、できなかったりしても、叱ることなく、温かい雰囲気の中で学習に取り組ませて頂きますよう、よろしくお願いします。また、できたときには、しっかりとほめてあげてください。今後の自信につながります。

※ 算数の教科書にはQRコードが印刷されています。スマホ等で利用可能ですので、ご活用下さい。

学習ガイド（小学校3年生 社会）

★はじめに★

教科書の表紙をめくって、もくじを読んでみましょう。

2・3ページ「生活科で学んだこと」4ページ「3年生で学ぶこと」を読み、その中から、写真を選んで3年生で学びたいことをノートなどに書いてみましょう。

(1)「地図って何だろう」(地図帳 P7～P8)を読み、地図とは何かを調べよう。

- ① P7～P8 を読み、地図とはどのようなものかを調べましょう。
- ② P8 の「トライ！」に取り組みましょう(地図帳に書きこんでかまいません)。

(2)「地図のやくそく(1)」(地図帳 P9～P10)を読み、方位について調べよう。

- ① 家から見た東西南北の様子を観察し、それぞれどんな様子か、絵や文章でノートなどにまとめましょう。
- ② 家から見た東西南北の様子には、どのような特ちょうがあるか自分なりに考え、ノートなどにまとめましょう。

《保護者のみなさまへ ★関わり方のポイント★》

★ 社会科の学習は、3年生よりスタートします。社会科で使用するノートの準備などお困りの場合は、ご家庭にあるノートやコピー用紙等で代用されてください。もし、各学校から指定されたノートがあれば、そちらを使うようにしてしてください。

(1)「地図って何だろう」(地図帳 P7～P8)と一緒に読んでいただき、資料を見る順番や吹き出しに書いてあるポイントに気づくような促しをしてみてください。

(2)「地図のやくそく(1)」(地図帳 P9～P10)の学習では、地図帳を見ながら、一緒に東西南北を見つけたり、部屋の中や家の外の方位を見つけたりしてみてください。スマートフォン等のICT機器でも無料でインストールできる方位磁石のアプリもありますので、一緒に見て考えるよい機会です。

(3) 家から見た東西南北調べでは、住宅がひろがっている所、商業施設が集まっている所、大きな道路や駅など、お子さんの生活経験からの気づきを大切にしてください。

(4)「どうしてお店が集まっているのだろうか。」などと、交通の広がりや住宅街との位置などに着目して考えるよう促してみてください。

(5) はじめての地図帳です。一緒に手に取り、楽しみながら地図に触れることができるよう励ましや声かけをお願いいたします。

学習ガイド 小学校3年生 理科

★はじめに★

「理科」の学習は、3年生からのスタートです！

学びゅうのみんなで、身の回りで見つけた「ふしぎ」を調べていきます。

表紙には、どのようなイラストや写真がありますか？

表紙をめくってみよう。この写真や言葉から、どんなことにきづくかな？

2・3ページ「目次」「理科の学び方」「話し合いのしかた」を読みましょう。

4・5ページ「教科書の使い方」を読みましょう。

おうちでも教科書をつかって、準備を進めておこう！

(1) 教科書6～13ページを読んで、「春の生きもの」をくわしく調べましょう。

①にわなどで育てていたり見つけたりした生きものの写真を見て、色や形、大きさに注目して、かんさつカードを書きましょう。(教科書の後ろの「しぜんのかんさつ」のページや図かんなどで調べましょう。)

教科書11ページの「かんさつカードの書き方」を見て、ノートの1ページに1つの生きものを絵とことばでくわしく書くようにしましょう。

かきかたのこつ

- 小さいものを大きくかく。
- どころがどのようにになっていたか、見たとおりにかく。

②いくつかの生きものを調べて、「かんさつカード」をふやしていきましょう。

(2) 教科書12ページを読んで、「かんさつカード」をくらべて、にているところやちがうところを考えてみましょう。

①たとえば「モンシロチョウとモンキチョウは、はねの色やもようのあるところはちがうけど、大きさやはねの形はにている。」のように、ことばにしてノートに書いておきましょう。

《保護者のみなさまへ ★関わり方のポイント★》

- 3年生の理科学習では、自然の事物・現象を調べる中で気付いた差異点や共通点をもとに問題を見いだすことをねらいとしています。
- (1) 生きものの写真から、いくつかの植物や昆虫、動物を比べて、色や形、大きさなどに気付くように関わってあげてください。生きものの写真を見るためにインターネットを利用するときは、保護者の方の見守りのもとでお願いします。
- (2) 実物を観察するときは、危険のないように、注意や見守りをお願いします。